

【申告書の記入例】

・住所（又は納税通知書送達先）に修正がある場合は、訂正してください。電話番号については、市外の方は市外局番まで記入してください。また、ふりがなを付してください。

・ふりがなを付してください。法人の場合は、代表者名を記入してください。屋号があれば、記入してください。変更がある場合は修正してください。

・事業の目的を具体的に記入し、2つ以上の事業を行っている場合は、主たる事業種目を記入してください。

・個人の場合は開始年月、法人の場合は設立年月を記入してください。

・税理士等に委託している場合は、その方の氏名及び電話番号を記入してください。

令和5年度 償却資産申告書（償却資産課税台帳）

提出用
※所有者コード
8383838

令和5年1月31日

佐久市長殿

1 住所 (ふりがな) さくし なかごみ 佐久市中込3056 (又は納税通知書送付先) (電話 62-XXXX)

2 氏名 (ふりがな) さくたろう 佐久太郎株式会社 (法人にあつては、その名称及び代表者の氏名) (屋号 代表取締役 佐久太郎)

3 個人番号又は法人番号

4 事業種目 (資本金等の額) 精密機器製造業 (10 百万円)

5 事業開始年月 令和4年4月

6 この申告に回答する者の氏名 経理課 白田 花子 (電話 62-XXXX)

7 税理士等の氏名 浅科税理士事務所 (電話 62-XXXX)

8 短縮耐用年数の承認 有・無 (無)

9 増加償却の届出 有・無 (無)

10 非課税該当資産 有・無 (無)

11 課税標準の特例 有・無 (無)

12 特別償却又は圧縮記帳 有・無 (無)

13 税務会計上の償却方法 (定率法) 定額法

14 青色申告 (有) 無

資産の種類	取得価額			
	前年前に取得したもの (イ)	前年中に減少したもの (ロ)	前年中に取得したもの (ハ)	計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)
1 構築物	1,500,000		1,283,000	2,783,000
2 機械及び装置	1,212,000	1,212,000		
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	2,328,000		1,620,000	3,948,000
7 合計	5,040,000	1,212,000	2,903,000	6,731,000

15 市(区)町村内における事業所等資産の所在地 ① 佐久市中込3056

16 借用資産 (有) 無 望月リース(株)

17 事業所用家屋の所有区分 (自己所有) 借家

18 備考(添付書類等)

・異動なし

・令和4年4月1日 事業開始

・令和4年4月1日佐久次郎株式会社を吸収合併

・令和4年4月1日佐久次郎株式会社から佐久太郎株式会社へ社名変更

・該当資産なし

※の欄は記入不要です。ただし、電算処理方式により申告される場合は記入をしてください。

第二十六号様式(提出用)用紙日本工業規格A4 草色(第十四条関係)

・該当する方を○で囲んでください。「有」の場合には承認通知書の写しを提出してください。

・該当する方を○で囲んでください。「有」の場合には別途書類を提出してください。

・圧縮記帳、特別償却・割増償却は固定資産税では認められていません。

・該当する方を○で囲んでください。

・佐久市内における事業所等の資産所在地を記入してください。2つ以上の事業所がある場合は、それぞれの所在地を記入し、主たる所在地を○で囲んでください。

・借用資産(リース・レンタル)の有無について該当する方を○で囲んでください。借用資産がある場合は、その資産の貸主の名称等を記入してください。

・該当する方を○で囲んでください。

・資産に異動がない場合は、「異動なし」と記入してください。

・新規の場合は「〇年〇月〇日 事業開始」と記入してください。

・令和4年1月1日現在の償却資産の取得価額の合計です。令和4年度の申告書の計の欄の額と同額になります。

・令和4年1月2日から令和5年1月1日までに減少した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

・令和4年1月2日から令和5年1月1日までに取得した資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

・令和5年1月1日現在の償却資産の取得価額の合計を種類別に記入してください。

・該当資産のない場合は「該当資産なし」と記入してください。

・所有者の変更及び法人の社名変更及び合併等があった場合、その旨を記入してください。

裏面もご覧ください